

【 設問アプローチ 】

[24 - A]

問1 : ① [設問チェック] 傍線部について, その理由が尋ねられている。

また, 設問を解くためのポイントを確認しておく。

- (1) 「細君を困惑させる」 … 〈心情〉
- (2) 「気の毒だと思って」 … 〈心情〉
- (3) 「よしにした」 … 〈描写〉 主人公の行動

② [アプローチ] ①で確認した 〈心情〉 と 〈描写〉 の要因を, 本文中から明らかにする。

③ [本文読解] 本文読解を通して, 傍線部のように主人公が感じ, また行動した経緯は, 傍線部までの範囲に示されていることが分かるので, その範囲を《根拠》にする。

→ 読解中に 〈心情〉 と 〈描写〉 をチェックしながら内容把握をしておく。

④ [判断基準] ③で確認した《根拠》と, その中でポイントとなる 〈心情〉, 〈描写〉 のチェックを中心に, 傍線部までの内容を整理する。

→ 「細君は, 夫の意識が回復することへの希望を持っている」ということが傍線部までの要点であり, それを踏まえた主人公の応対が傍線部であることが分かるので, その内容を適切に説明した選択肢を吟味する。

問2 : ① [設問チェック] 傍線部について, 「彼」の心情が尋ねられている。

また, 設問を解くためのポイントを確認しておく。

- (1) 「病室の素っ気なさ」 … 〈描写〉
- (2) 「彼を大胆にした」 … 〈心情〉

② [アプローチ] (1) 「病室の素っ気なさ」とは, 病室のどのような状況か。

(2) 「彼を大胆にした」 … 設問で問われている「彼」の心情に対するポイント。

→ 上記2つの内容を, 本文から明らかにする。

③ [本文読解] 傍線部の一文前に「細君の姿は見えなくて」という内容があり, これが「病室の素っ気なさ」の一つの要因になっていると読み取れる。

また, 傍線部の後の62～64行目に主人公のセリフがあり, ここから「大胆さ」とは「細君がいないことで, 気を遣うことなく旧友に本心を伝えていること」とであると読み取れる。

④ [判断基準] 以上のポイントを押さえて, 内容を説明した選択肢を, 解答として選ぶ。

問3 : ① [設問チェック] 傍線部について, 細君の心情が問われている。

また, 設問を解くためのポイントを確認しておく。

- (1) 「首をすくめて」 … 〈描写〉 細君の様子
- (2) 「そういった」 … 指示内容の把握

② [本文読解] 傍線部の「そういった」の指示内容は, 傍線部直前のセリフになる。

このセリフには, 「退屈」という 〈心情〉 があり, これに続いて傍線部で「首をすくめた」という 〈描写〉 がある。これらの内容説明を, 本文から明らかにする。

- ③ [判断基準] ②を踏まえて、本文を確認すると、66～72行目に当該内容がある。
この部分の内容を《根拠》とし、ポイントとなる内容を本文読解の際のチェックを中心に確認する。
→ 「手ぶらでもたれて」、「ぼんやり眺めて」という〈描写〉があり、「細君」が手持ち無沙汰で時間を持て余している様子が読み取れる。
このポイントと、傍線部までの文脈を踏まえて選択肢を吟味する。

- 問4 : ① [設問チェック] 傍線部について、内容説明が求められている。
→ [アプローチ] 傍線部のように主人公が行動した要因や経緯を、本文から明らかにする。
- ② [本文読解] 傍線部に関する内容は、77～86行目のあたりにある。
読解中に、この範囲を《根拠》としてチェックしておく。
- ③ [判断理由] ②で確認した《根拠》の内容を、読解中にチェックした〈心情〉や〈描写〉を中心に整理して把握する。
→ 「退屈を持て余して」、「やつれ」、「投げやり」、「品位に欠けてくる」、「だんだんいいみたい…」、「居酒屋の女のように〜大口で笑った」、そして傍線部に「わざとらしく笑い崩れる」とあるので、
以上のことから、細君には「疲れ」と「半ば諦め」があり、主人公はそうした細君の様子を直視できず、傍線部のように目をそらし、急ぎ足で外に出たと読み取れる。
このことを説明した選択肢を、解答として選ぶ。

- 問5 : ① [設問チェック + アプローチ] 本文全体の内容と表現の特徴に関する設問のため、予め選択肢文のキーワードをチェックしておく。また、「適当でないもの」を尋ねられていることにも注意する。
- ② [判断基準] 本文読解中のチェックを中心に、本文の内容と選択肢文のキーワードを照らし合わせ、解答となる選択肢を選ぶ。